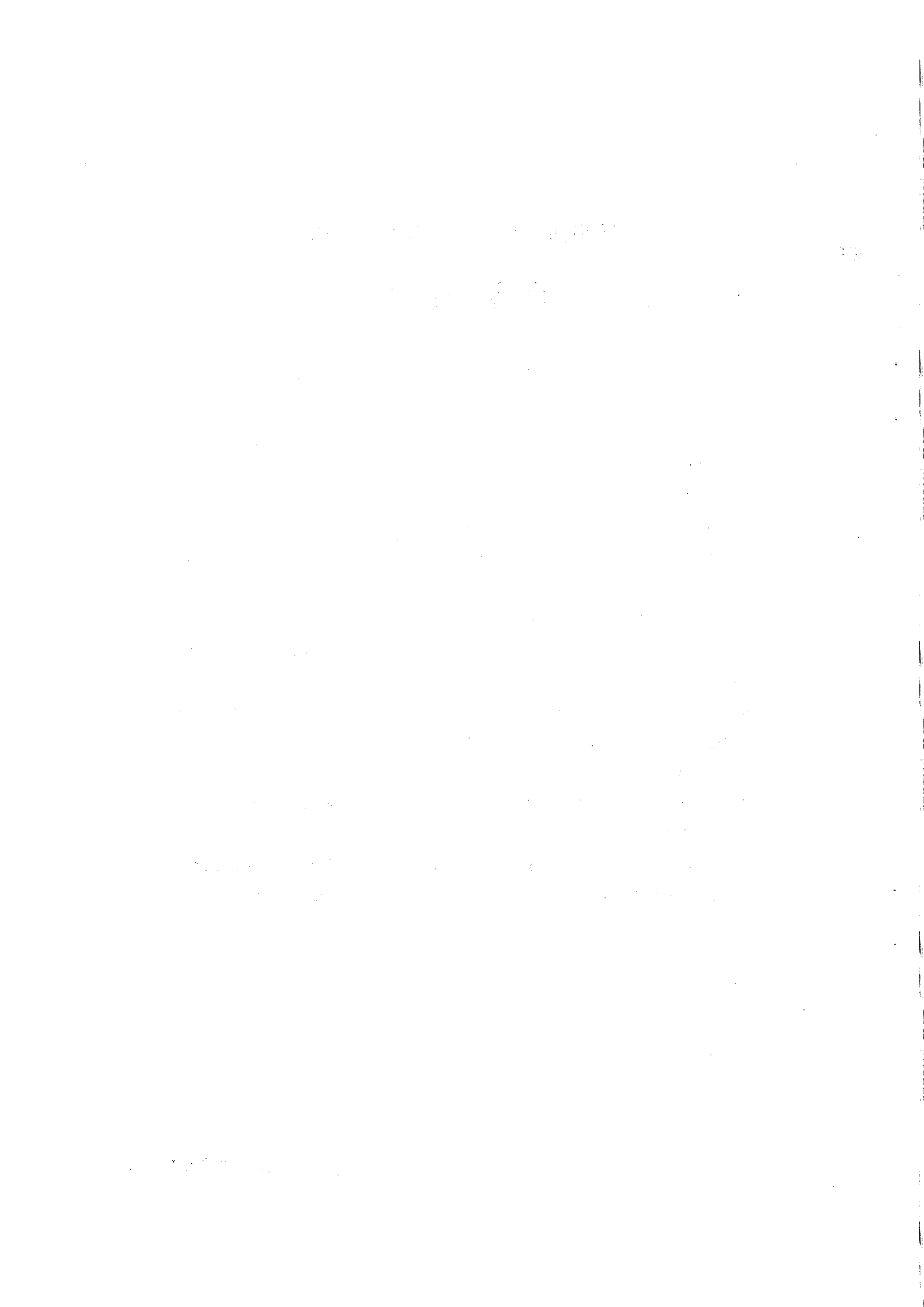


2020 年度 入学 試験 問題

世界史 B

(試験時間 16:25~17:25 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類があります。
3. 解答は、必ず解答欄に記入およびマークしてください。解答欄以外への記入およびマークは無効となります。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きには使用しないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. マーク解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないようにしてください。
8. 一度記入したマークを修正する場合、しっかりと消してください。消し残しがあると、マーク読み取り装置が反応して解答が無効となることがあります。



I 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(34点)

エジプト文明は、ギリシアの歴史家である が「エジプトはナイルの賜物」と後に述べたように、ナイル川の恵みなしでは生まれなかった。北部河口付近のデルタ地帯を下エジプト、南部の渓谷地域を上エジプトという。ナイル川は、毎年7月から10月まで定期的な氾濫を起こす。メソポタミアと異なり、規則的なナイル川の氾濫は恩恵であった。上流から肥沃な土が運ばれ、灌漑によって早くから豊かな農耕生活が営まれた。人々は、 と呼ばれる小集落ごとにまとまって生活していたが、より大規模な治水の必要から前3000年頃には王による統一国家が作られた。以降、一時的に周辺民族の侵入や外国からの支配をうけることもあったが、国内の統一を保つ時代が長く続いた。エジプトでは約30の王朝が交替したが、特に繁栄した時代は、古王国、中王国、新王国の3期である。

王は と呼ばれ、生ける神として神権政治を行った。前27世紀頃からナイル川下流域の を中心に栄えた古王国では、強力な王権を誇り、官僚制が発達した。その後、王権がおとろえたが、前2000年頃、 を本拠地にする勢力が力を持ち、中王国時代が始まり、中央集権化と官僚組織の整備が進んだ。

宗教においては、動物神への信仰が盛んで多神教であった。古王国時代には、王は主神たる太陽神である の化身として崇められ、その絶大な権力はピラミッド^②に象徴される。中王国時代には首都の守護神アメンが主神となった。新王国時代には、王により宗教改革が行われた。この宗教改革の時代をアマルナ時代と呼ぶ。エジプト人^③は来世信仰を持ち、ミイラをつくり、パピルスに書かれた「」を残した。これは死後、冥界の王である の審判に備えて、生前の善行や復活のための呪文を記したもので、エジプト人の宗教観をよくあらわしている。

エジプト人が使用した象形文字は と呼ばれた。後にナポレオンのエジプト遠征の際に発見された を手掛かりにして1822年にフランス人の研究者の が解読に成功した。ナイル川の氾濫後に毎年農地を区画し直すための技術である測地術が発達し、ギリシアに伝わって幾何学の基礎になった。また暦は太陽暦を用いた。この暦は、後にローマに伝わり、 暦となった。

【設問Ⅰ】 A～Lの中に入るもっとも適当な語句を記述解答用紙に書きなさい。

【設問Ⅱ】 上記の文章の下線部①～④に関する以下の問の答えをマーク解答用紙にマークしなさい。

問1 下線部①に関連する記述として、正しいものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 新王国時代末期にシリア方面から遊牧民ヒクソスが侵入し、国内は一時混乱した。
- (b) 中王国時代末期にシリア方面から遊牧民ヒクソスが侵入し、約100年ヒクソスが支配した。
- (c) 中王国時代末期には、エジプト人による再統一がなされ、ヒクソスの軍事技術が取り入れられ、ミタンニヤヒッタイトとも抗争を重ねた。
- (d) 古王国時代末期に一時国内を支配した遊牧民ヒクソスは、それまでエジプトに知られていなかった馬と戦車をもたらした。

問2 下線部②に関し、現存する最大のピラミッドを築かせた王は、次のうち誰か。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) クフ
- (b) カフラー
- (c) メンカウラー
- (d) ツタンカーメン

問3 下線部③に関連する記述として、正しいものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 宗教改革を行った王はアメンホテプ4世で、アトン神を万物の創造神と決め、従来の神々の崇拜を禁じた。これは王の死によって一代限りで終わった。
- (b) 宗教改革を行った王はアメンホテプ4世で、アトン神を万物の創造神と決め、従来の神々の崇拜を禁じた。これは次の王ツタンカーメンによって引き継がれた。
- (c) 宗教改革を行った王はラムセス2世で、従来の神々の崇拜を禁じ、アトン神のみを唯一神として信仰する宗教改革を行った。これは王の死によって一代限りで終わった。
- (d) 宗教改革を行った王はラムセス2世で、従来の神々の崇拜を禁じ、アトン神のみを唯一神として信仰する宗教改革を行った。これはその後、長期に渡って引き継がれた。

問4 下線部④に関連する記述として、誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 首都はテル=エル=アマルナに移され、写実的なアマルナ美術を生み出した。アメンホテプ4世の妃を刻んだ像はアマルナ美術の代表作である。
- (b) 19世紀に発見された楔形文字粘土板書であるアマルナ文書は国際関係を物語る重要な史料である。
- (c) この時代には新しい宗教の精神を反映して、従来の伝統的形式に縛られない、自由で写実的な芸術様式のアマルナ美術を生み出した。
- (d) アマルナ美術は西北インドにもおよび、写実的な仏教美術であるガンダーラ美術が生まれた。

Ⅱ 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(32点)

14世紀に白蓮教徒が起こした **A** の乱の指導者の一人だった朱元璋(太祖、洪武帝)は1368年に金陵(現在の南京)を都として明をたてた。洪武帝は国内の政治の立て直しにつとめ、宰相および中書省を廃し、万事を皇帝が直接決定する体制を作った。さらに、徴税の徹底化をはかるため、里甲制の実施と同時に戸籍と租税の台帳である **B** の作成や、一般の民戸とは別に軍戸の戸籍を設ける **C** 制と呼ばれる軍制を編制した。対外関係では、明は海上・内陸ともに厳格な管理体制をしいた。元末には海上貿易が盛んであったが、同時に前期倭寇による沿岸部での略奪などが活発であったので、洪武帝は秩序回復のために海禁政策をとり、政府の管理する **D** 貿易を推進した。洪武帝の死後、靖難の役で帝位を奪った永楽帝^①は、首都を北京に移して積極的な対外政策をとった。北方ではモンゴル高原に遠征して、元朝の末裔のモンゴルとその西方のオイラトとの争いに介入し、明の勢力を広げた。洪武帝も永楽帝も、周辺諸国との間に積極的に **D** 関係を結ぶことによって、新王朝の権威を高め、政権を安定させようとした。

永楽帝の死後、モンゴル系のオイラトが勢力を強めた。1449年には、オイラトのエセン=ハンが明の第6代皇帝である正統帝を北京近郊でとらえる **E** の変が起こった。この時期から明はモンゴルの侵入にそなえ、北方の長城を改修するなど守勢に転じた。16世紀頃にアジア海域での貿易が活発になると、海禁で自由貿易ができなかった東シナ海沿岸の民間商人は武装して密貿易を強めた。このような状況では、明は従来の貿易統制政策を続けることができず、海禁をゆるめて民間人の海外貿易を許した。海禁の緩和と第2次大交易時代の波及によって中国商人^②が国際商業網に参入すると、長江下流域の水田の一部が綿・桑などの換金作物の栽培地に転換された。その結果、長江中流域があらたな穀倉地帯となり、「**F** 熟すれば天下足る」と称せられるようになった。また文化面では、科学技術への関心が高まり、日本など東アジア諸国にも影響を与えた科学技術書^③が刊行された。当時の科学発展には、16世紀半ば以後東アジアに來航した宣教師^④たちが重要な役割を果たした。そして、都市の繁栄^⑤にともない庶民文学が栄え、四大奇書などの口語小説^⑤が多くの読者を獲得した。

明朝は16世紀の北虜南倭の危機が緩和された後も、朝鮮への援軍派遣や女真(女^⑥

直、のち満州と改称)との対抗で軍事費は増大した。1620年頃から、重税と飢饉のために各地で反乱が発生した。1644年、Gの率いる農民反乱軍に北京を占領されて明朝は滅亡した。

【設問Ⅰ】 A～Gの中に入るもっとも適当な語句を記述解答用紙にすべて漢字で書きなさい。

【設問Ⅱ】 上記の文章の下線部①～⑥に関する以下の問の答えをマーク解答用紙にマークしなさい。

問1 下線部①の「永楽帝」が行ったことに関連する記述として、正しいものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 『四書大全』と『四庫全書』を編纂させた。
- (b) 郷挙里選という官吏任用制度を制定した。
- (c) イスラーム教徒の宦官鄭成功に南海遠征を行わせた。
- (d) 内閣大学士を重用して皇帝の政務を補佐させた。

問2 下線部②に関連する記述として、誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) ヨーロッパのギルドと異なり、商工業者の同郷・同業団体は正式に行政に関わることはなかったが、福祉事業や紛争の調停など、都市生活において大きな役割を果たした。
- (b) 政府と結びついて北方の軍事地帯での物資調達を担当して巨富を積み、その資本をもって東南沿岸の大都市で金融業などを営んでさらに富を増やした。
- (c) 徽州商人や山西商人など、全国的な商業ネットワークを持つ特権商人が巨大な富を築いた。
- (d) 都市における商業の発展にともない、商工業者は、同郷や同業を理由に結束し、都市に会館・公所を作って活動の拠点とした。

問3 下線部③に関連して、正しい組み合わせを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 『本草綱目』—李時珍著 『農政全書』—宋応星編
『天工開物』—徐光啓著
- (b) 『本草綱目』—宋応星著 『農政全書』—徐光啓編
『天工開物』—李時珍著
- (c) 『本草綱目』—李時珍著 『農政全書』—徐光啓編
『天工開物』—宋応星著
- (d) 『本草綱目』—宋応星著 『農政全書』—李時珍編
『天工開物』—徐光啓著

問4 下線部④に関連して、宣教師であったアダム=シャルが刊行に関わったものについて、正しいものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 『崇禎曆書』
- (b) 「坤輿全図」
- (c) 『幾何原本』
- (d) 「皇輿全覧図」

問5 下線部⑤に関連する記述として、正しいものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 四大奇書に挙げられているのは『三国志演義』・『紅樓夢』・『琵琶記』・『水滸伝』である。
- (b) 四大奇書に挙げられているのは『金瓶梅』・『西廂記』・『水滸伝』・『西遊記』である。
- (c) 四大奇書に挙げられているのは『水滸伝』・『三国志演義』・『西遊記』・『金瓶梅』である。
- (d) 四大奇書に挙げられているのは『西遊記』・『儒林外史』・『三国志演義』・『西廂記』である。

問6 下線部⑥に関連する記述として、正しいものを2つ選びなさい。

- (a) 16世紀末、ヌルハチは女真諸部族を従え、1616年に建国して国号をア
イシンと定めた。
- (b) ヌルハチは、八旗の編成や満州文字の制作など、独自の国家建設を進め
た。
- (c) ヌルハチは明の制度に倣って中央官制を整備した。
- (d) 満州という名は普賢菩薩信仰に由来するといわれる。

Ⅲ 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(34点)

私たちが日常何気なく口にするコーヒー。その背景には、複雑な世界の歴史がある。コーヒーは、アフリカ大陸のエチオピア原産といわれている。15世紀頃のイエメンで現在のような飲料となり、オスマン朝をはじめとする地中海沿岸に広まった。16世紀にはイスタンブルにおいて、一般の庶民から国家の高官まで、幅広い層において流行した。17世紀にはヨーロッパに伝えられ、そこでもブームを引き起こした。

コーヒー需要の増加に対応するため、ヨーロッパ諸国はジャワやアフリカ東海岸諸島などでコーヒーの栽培を開始したが、18世紀になると、ジャマイカやブラジルをはじめとする、ラテンアメリカにあるヨーロッパ諸国の植民地が主要生産地となった。この地域では既に砂糖を生産するプランテーション制度が根づいており、それを流用することで、効率的にコーヒーを生産することが可能だったからである。

17世紀後半、イギリスのロンドンには、多くのコーヒーハウスがあった。コーヒーハウスは、単にコーヒーを楽しむ場所としてだけでなく、様々な人々の交流の場としても機能した。コーヒーがヨーロッパに紹介された当初は、王侯貴族に独占されていたが、当時のヨーロッパ諸国で起きた生活革命の中、豊かになった市民層は、日常の消費生活において貴族をまねることができるようになっていた。そのような中、法律家や聖職者などの専門職業人を含む教養ある市民層が集まって交流する場としての役割も果たし、貴族の館のサロンなどとともに、文芸活動やジャーナリズムの発展を支え、啓蒙思想を普及させた。新聞や雑誌などをそろえたコーヒーハウスでは、市民の情報センターとして、朗読や政党の談合、保険の契約までもが行われていた。このような市民層は当時の文化や芸術にも影響力を持つようになり、その好みを反映した様々な作品が登場した。

また、この頃のヨーロッパでは、科学革命と呼ばれる、近代的合理主義の思想・学問の発展・確立がみられる。1660年代には、イギリス最古の学術団体である A が設立された。当時は、実験・観察や数学的思考法が重視された一方、錬金術や占星術への関心も継続されており、現代科学への過渡期とも言われている。

18世紀頃になると、ヨーロッパ諸国はさらにオセアニア地域へも進出するようになった。1770年、イギリスの探検家クックが、オーストラリア大陸をイギリス領

として宣言した。1840年にはワイタング条約でニュージーランドがイギリスの植民地となったが、ポリネシア系先住民である 人による抵抗運動が盛んとなり、1860年からは入植者との間で大きな争いが起きた。また、さらに他の国々も加わり、19世紀後半から20世紀初頭には、各国が争うようにオセアニア地域の植民地化を進めた。^⑤

第二次世界大戦では、日本もオセアニアの広い範囲で連合国と戦った。ミッドウェー海戦（1942年6月）やソロモン諸島南部における 島の戦い（1942年8月から1943年にかけて）は、日本が太平洋での主導権を失う契機となったが、これらを含む多くの戦いで、たくさんの現地住民も犠牲になった。

1960年代以降、オセアニア全域で植民地の独立が続いた。ニュージーランドやオーストラリアでは、イギリス人が先住民から奪った土地や権利を返そうとする機運も高まった。^⑥しかし、ヨーロッパ系住民に比べて先住民は教育や就職の機会などで対等になることが難しいことが多々ある。また新たに独立した島々は、人口10万人以下の小国が多く、政治的、経済的に多くの問題を抱えている。また、これらの国々は、大国による核実験や様々な環境問題の影響を受けており、今日の国際社会における^⑦様々な問題を考える中で、忘れてはいけない存在である。

【設問Ⅰ】 ～ の中に入るもっとも適切な語句を記述解答用紙に記入しなさい。

【設問Ⅱ】 波線部(i)に関連して、以下の作品名を、記述解答用紙に記入しなさい（一般的に用いられている呼称でよい）。

問1 バンヤンの主著。1678年と1684年に1部と2部がそれぞれ刊行された。
ピューリタン信仰を表現した寓意物語。

問2 主人公が無人の孤島において、みずから耕し生活物資を作り出して、神の恵みを確信しつつ、28年間を生き抜いていくさまを描いたデフォーの小説。
(1719年発刊)

【設問Ⅲ】 波線部(ii)に関連して、以下の画家の名前を、記述解答用紙に記入しなさい
(一般的に用いられている呼称でよい)。

問1 オランダ市民の日常生活を多数描き、光の明暗や色彩などの繊細な表現に優れているとされる。「真珠の耳飾りの少女」などの作品で知られている。

問2 スペインの代表的画家の一人。厨房画や肖像画・歴史画などを写実的技法で描き、宮廷画家としても活躍した。代表作の一つに「ラス=メニーナス」(「女官たち」)がある。

問3 オランダ画派の代表的画家。「夜警」などの集団肖像画や風俗画のほか、宗教画や自画像も多数残し、明暗を巧みに使った技法から「光と影の画家」とも呼ばれる。

【設問Ⅳ】 下線部①～⑦について、以下の問の答えをマーク解答用紙にマークしなさい。

問1 下線部①のジャワに関連して、以下の文で誤っているものを2つ選びなさい。

- (a) 16世紀頃のジャワは、アチェ王国により支配されていたが、その後、王位継承へのオランダの干渉により、王家が分裂した。
- (b) 世界初の株式会社として知られるオランダの東インド会社は、ジャワのバタヴィアを拠点に香辛料貿易の独占を目指し、1670年代には東南アジアで最も優位に活動を展開した。
- (c) 1825年頃から、オランダの支配に対し、ジョクジャカルタの王族が反乱を起こした。オランダは鎮圧に成功したが、政庁の財政は悪化した。
- (d) オランダは、1830年から、ジャワで強制裁培制度をしき、村ごとに割り当てて栽培させたコーヒー、さとうきび、藍などを独占的に輸出して、莫大な利益をあげた。
- (e) ナポレオン戦争後のオランダは、ジャワをはじめとするインドネシア群島や、貿易の中継地点としてのシンガポールを征服し、海峡植民地とした。

問2 下線部②のプランテーションに関連して、以下の文で誤っているものを1つ選びなさい。なお該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) たばこ、綿花、米など、商品作物栽培を目的とした大農園制を指す。
- (b) 北アメリカ南部においては当初、白人年季奉公人が労働力の中心を占めたが、17世紀末頃から黒人奴隷が多数使用された。
- (c) 19世紀以降はイギリス産業革命の影響で、綿花プランテーションの割合が増大した。
- (d) 単種耕作であることが多く、現地の農業構造を破壊し、各地において、今日までその弊害が残っているとされている。

問3 下線部③の生活革命および17～18世紀のヨーロッパに関連して、以下の文で誤っているものを1つ選びなさい。なお該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) コーヒー以外にも、貿易によって、当時のヨーロッパにおいてはめずらしい商品がヨーロッパ外から大量にもたらされたことで、生活に急速な変化をもたらされた。
- (b) 18世紀末頃、フランスにおいて世界で初めて、リュミエール兄弟による映画上映がなされ、新たな娯楽を生み出した。
- (c) フランスの都市においては、17世紀頃からカフェが流行した。文化人や商人などの市民が政治・文化などを議論する場となり、新思想や世論が形成された。
- (d) 政治・レクリエーション・学芸など特定分野に関心を持つ人々が集まって形成した交流組織はクラブと呼ばれ、コーヒーハウスなどを拠点に活動していた。

問4 下線部④の近代的合理主義の思想・学問に関連して、以下の文で誤っているものを2つ選びなさい。

- (a) ドイツの天文学者であるケプラーは、太陽を焦点とした惑星運行の法則を理論化し、地動説に基づく『コペルニクス天文学概要』を著した。
- (b) ニュートンはその著書『万有引力の法則』の中で、地上から宇宙に至る力学の諸法則を体系化した。
- (c) イギリスの哲学者であるフランシス=ベーコンは、経験や観察を重んじて帰納法的思考法を説いた。主著『新オルガヌム』では4種類の偏見をあげ、知にいたる障害要因とした。
- (d) ドイツの哲学者・数学者・政治家であるライプニッツは、世界を合理的に認識して单子論を説き、個々の個体が神の手で調和的に結びつけられ構成されているとした。
- (e) フランスの数学者・哲学者であるパスカルは、『百科全書』の主な編者の一人であり、啓蒙主義精神にのっとり科学・技術や哲学・思想・宗教などを紹介した。

問5 下線部⑤のオセアニア地域およびその周辺地域に関連して、以下の文で誤っているものを2つ選びなさい。

- (a) パラオ諸島は、ミクロネシアの西端に位置する島々である。国連信託統治領としてフランスに統治された。
- (b) マリアナ諸島は、ミクロネシア西北部の島々である。1565年にスペイン領となり、1899年にドイツが買収した。
- (c) フィジーはニュージーランド北方の、メラネシアの群島である。1874年にイギリスが保護領とし、サトウキビ農園の労働者としてインド人を移住させたため、先住民との対立が発生した。
- (d) ニューカレドニアは、オーストラリア東方の南回帰線付近に位置する島である。1853年にオランダ領となり、その流刑植民地とされた。
- (e) 1810年に樹立したハワイ王国では、カメハメハ1世が政権維持に白人を利用し、その後白人の移住が増加した。その後リリウオカラニの時代に、親アメリカ系白人のクーデターが起き、1893年にこの王国は滅んだ。

問6 下線部⑥のニュージーランドおよびオーストラリアに関連して、以下の文で誤っているものを1つ選びなさい。なお該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) オーストラリアでは、白人優先と有色人種排斥の思想・移民制限政策である白豪主義が国是とされたが、1972年に移民制限が撤廃された。
- (b) タスマンは、オランダ東インド会社から派遣され、1642年の航海でニュージーランドに達し、1644年にはオーストラリアの北岸と北西岸を探検した。
- (c) 1931年のウェストミンスター憲章の制定を機に、イギリス連邦は解体され、ニュージーランドとオーストラリアを含む旧イギリス領は独立し、対等な関係であることが確認された。
- (d) ニュージーランドとオーストラリアは、イギリスとの歴史的なつながりから、今日でも両国の国旗の一部にイギリスの国旗（ユニオン・ジャック）が含まれている。

問7 下線部⑦の大国による核実験や様々な環境問題に関連して、以下の文で誤っているものを1つ選びなさい。なお該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 第二次大戦後、ビキニ環礁において核爆発実験が繰り返された。1954年には第五福竜丸事件において日本漁船が放射能汚染を受けたことから、島民は強制的に島から退去させられた。
- (b) オゾン層の保護を国際的に進めることを内容として、1987年にモンリオール議定書が採択された。
- (c) 1963年に、既に核実験を済ませていたアメリカ・イギリス・ソ連の3か国が、部分的核実験禁止条約を調印した。フランスと中国は、これら3か国による核の寡占であると批判し、参加しなかった。
- (d) アメリカの海洋生物学者バートランド=ラッセルは、その主著『沈黙の春』で農薬による食物の汚染や人体への害、農薬の蓄積による生態系の破壊を、実例を紹介しながら警告した。

13

14

